

# 宇美町地区振興計画

平成25年12月

町民まちづくり検討会

## 宇美地区(宇美小学校区)

### 1. 地区の特性と保有する資源

宇美地区は町の中心市街地を含め、町域の最北端から最南端まで縦に長い地域となっています。

地区にはJR香椎線の宇美駅があり、福岡市香椎等と結ばれており、バス路線も整備されています。また、町の中心市街地としての機能を持ち、公共施設も多く、宇美小学校、宇美中学校、武道館、宇美公園、歴史民俗資料館、ハピネス（トレーニング施設）、老人福祉センターなどが立地し、そして、県道68号線沿いには商業施設や由緒ある酒蔵などもあります。

歴史と格式のある宇美八幡宮は、応神天皇をおまつりし、境内には、数多くの樟が生い茂る湯蓋の森、衣掛の森など多くの自然・歴史資源があります。また、稚児行列、神楽、放生会、相撲大会などは楽しい催しです。

文化的史跡も豊富で、四王寺史跡、光正寺古墳、神領古墳、貴船神社など多彩に存在しています。

また、宇美川などの河川環境も豊かで、内野川のホタルは、大都市近郊にありながら、貴重な存在となっています。

さらに、四王寺山には国の特別史跡に指定されている大野城跡や四王寺県民の森などもあり、豊かな山林などの自然と都市的機能が調和した地区となっています。

### 2. 地区の抱える課題と課題解決の方向性

地区では、高齢化や少子化が徐々に進んできており、若者の地区外流出も起きてきています。こうした状況の中で、民生委員など地区の役員の成り手が少なく、地区を支える人材の確保が必要です。とりわけ、一人暮らしの高齢者の増加は今後の課題となっています。

一方、基盤の面では、生活道路が狭いため交通混雑があり、加えて歩道の拡充等が必要となっています。

また、上下水道の整備(未整備区域)、福祉巡回バスの利便性の確保、JR宇美駅周辺の環境整備、市街地内の駐車場の整備、周遊ルートの案内板の設置、宇美八幡宮と大宰府天満宮を結ぶバス路線の増設等が必要であり、駅周辺の商業施設の整備・充実も求められています。

生活関連施設については、夜、暗い道への街路灯の整備、災害時の避難等の対策が必要

です。

これらの課題解決の方向性として、生活の利便性・安全性の確保、道路の整備や河川の整備・美化の観点から、高齢者や子どもの居場所の確保などが必要で、地域住民が主体となり行政が後押しする体制の確立が求められます。

### 3. 地区の将来像

宇美八幡宮や四王寺を生かし、人と人がつながり、心と地区経済が豊かにぎわいのある地区！

### 4. 地区における重点的な取り組み

歴史・自然資源を活用した魅力と緑あふれる人と人のつながりが感じられるまちづくりを目指します。

- ・通学路の安全確保→学校(P T A)・役場と緊密な連携をとり、問題箇所の選定と対策を図っていく
- ・地区コミュニティの充実を図り(老人会・育成会・婦人会など)行事の実施(運動会・夏まつり) etc 人の交流が大切
- ・宇美小学校・中学校行事への参加(運動会・宇美小まつり・環境整備・コミュニティスクール)
- ・災害時避難施設の確保(災害に強い施設)
- ・歴史民俗資料館や宇美八幡があるのでミニ観光案内を中心部に設置
- ・駅、商店街、酒蔵など、地区周遊ルートの整備
- ・地区観光マップの作成(光正寺古墳～四王寺)
- ・土砂災害・水害への具体的な取り組み(行政)の区民への効果的な周知方法の検討→連絡網策定のための基準
- ・交通混雑解消に向けた道路整備
- ・県民の森周辺の土地を整備し、集客を進める
- ・上下水道の設置(区長、近隣区の区長及び住民が協力して役場に協力設置の取り組みを行う)

## 宇美東地区(宇美東小学校区)

### 1. 地区の特性と保有する資源

宇美東地区は町の最東部に位置し、飯塚市、筑紫野市等と接しています。

団地を含む住宅地と三郡山系で構成されており、森林資源と水資源が豊かな地区となっています。一戸建てと集合住宅が混在している地区です。

塔ノ尾公園、原の前スポーツ公園、昭和の森、とびたけ緑地公園、とびたけ西公園、とびいちの杜など大小の公園施設が多く、極楽寺跡、正楽寺跡、一滴寺跡、氏神様をはじめ、どんど焼（鬼火焼）の行事等歴史的な資源も多くあります。

山には、山菜やあけびなどの野草も豊富で、自然も豊かな地区です。

また、地区内には九州最大、日本第三の規模の福岡刑務所があり、スポーツチームのコーチなど刑務官の地域貢献も行われています。

さらに、「ラブアース」への参加意識が高く、健康で知識経験豊かな高齢者も多い、水と緑の地区でもあります。

### 2. 地区の抱える課題と課題解決の方向性

地区では、資源はあっても宣伝されていないこと、休耕田や耕作放棄地が多いことなどをはじめ、交通の便や医療施設、商業施設、住宅地区道路の街路灯などに課題があり、さらには、住宅建設が同時期のため団塊世代が多く、高齢化していることや、それにとともなう少子化傾向も見られます。

また、地区の自然特性から土砂災害などの自然災害と隣り合わせにあります。

これらの課題解決の方向性として、山菜やタケノコ、山の実などの採集や加工の企画や伝統行事の復活・維持（もちつき・どんど焼）など地区の魅力の向上とそのPRを図って、若者（会社でも宣伝する）や元気な高齢者の社会参加を拡大して、スポーツ活動の活発化とともに、地区内での娯楽機能の整備、カルタ（百人一首）大会の継続などイベントの拡充により、子ども達にとって魅力ある地区にしていく必要があります。

### 3. 地区の将来像

緑と水豊かな元気なまち

～若いも若きもいきいき伸びるひがしの里～

### 4. 地区における重点的な取り組み

みんなの手とみんなの足でつなぐ、年代問わず生きがいのあるまちを目指します。

- ・総合的な住環境の整備（交通、防犯、自然災害）
- ・地域の活性化（盆踊り等）
- ・高齢者対策（生きがいつくり、見守り活動）
- ・景観面による規制と保全、有効活用
- ・官民協力体制（ボランティア活動等）の確立
- ・昭和の森の有効活用（子供の遊び場、山登りの拠点、バーベキュー、デイキャンプ）
- ・施設の利用し易さの確保

## 桜原地区(桜原小学校区)

### 1. 地区の特性と保有する資源

桜原地区は町の北部に位置し、東西に長い地区で、須恵町に接しています。

新興住宅などの住宅地と農業地域で構成されており、閑静な住宅地区というのが一つの特徴で、若い世代は西部に多く、東部は高齢化が進むなど、東西で生活利便性に違いがあります。

近辺には、宇美公園、図書館、中央公民館等の公共施設や医院があるなど生活利便施設ありますが、東部地域からは遠く、コミュニティバスなどの増便により利便性を向上する必要があります。また、神社の行事があり、住民は四季に寄り添い生活している意識を有しています。

住民活動においても、夏祭り、有志の会、おやじの会など行事参加率が高く、コミュニティスクール活動が活発に行われ、自然体験など子どもの教育環境が豊かで、子どもの数も多く、宝物は子どもという地区でもあります。

このほか、県道60号及び35号は交通量が多いことから、流入人口が多いということも商業的資源といえます。

さらに、旧炭鉱地には古い施設も現存し、撮影などでの活用も期待されます。

### 2. 地区の抱える課題と課題解決の方向性

本地区においても、少子高齢化傾向にあり、独居老人の増加・孤立化が懸念されます。また、県道35号の拡幅に伴い、高齢者等の歩行者の横断が難しくなるなど、都市化の弊害も出てきています。さらに、同じ地区でも居住区域で問題点が違うことや、子ども会育成会の入会者が少なくなっていること、役員のなり手が少ないことなどが課題でもあります。また、地区活動には、家を代表して高齢な親の層の参加が多く、40～50歳代の年代層が活動の場に出てこないのも、その層の意見や顔が見えないなど、二世目へのスムーズな移行も望まれるとともに、情報交流活動が重要になっています。

さらには、子どもや高齢者の居場所づくり、地域の美化運動や健康づくり活動、住民の

意識・マナーの向上なども求められます。

これらの課題解決の方向性として、少人数での訪問や声かけなどをして、輪に入ってもらえる様にする、公民館を活用するなど交流を持つ場を多くつくる、子どもや高齢者の見守りを拡充するなどの対策が必要です。

また、高齢者の中でも、社会活動を担える方も多くいらっしゃるので、支援者として登録して、活動できる団体（組織）を構築していくことが望まれます。

### 3. 地区の将来像

むこう 100 軒両隣り手と手を取りあい自然と街が交わる桜原校区

### 4. 地区における重点的な取り組み

町に足を入れた時に花で輝いている地区づくり、あいさつ声かけ運動などによる地区の活性化を目指します。

- ・それぞれの区に問題を共有する経験・キャリア・趣味嗜好別サポートクラブの立ち上げと事務局の設置（年齢問わない）
- ・卓球、バレー、グランドゴルフ、カメラ、ジョギング、ウォーキング等の活動の展開
- ・道路花壇（花あふれる、美しいきれいなまちづくり）づくり
- ・健康に関する行動企画イベントの開催
- ・高齢者と児童の交流のために具体的イベントの実施（例：ハロウィン）
- ・育成会、老人会に区切らずみんなでとりくめる仕組みづくり
- ・散歩道のルート作り
- ・登下校の学童の送り迎え
- ・高齢者の人達が出てきやすいコミュニケーションの確保
- ・地区内でお互いが気持よく挨拶を出来る雰囲気づくり
- ・公民館活動の活発化
- ・公民館を利用したイベント（もちつき大会・料理教室・盆踊りとおみこしの復活）の実施
- ・いきいきサロン（月2回）の開設

- ・イルミネーションの設置（防犯面）
- ・演芸会・夏まつり（子ども中心のイベント）の実施

## 原田地区(原田小学校区)

### 1. 地区の特性と保有する資源

原田地区は町のほぼ中央南部に位置し、南側は太宰府市に接しています。

地区は、古くからの農業地域と、丘の上にある新興住宅地域で構成される平静な町並みとともに、工業団地もあり、そして山間地から構成されています。

地区の景観を特徴づける田園や山林、きれいな川の流れは、豊かな自然を感じさせ、緑が多く、ホタルも生息しています。

また、地区には、総合スポーツ公園、南町民センター、リサイクルセンター、原田保育園、原田小学校、宇美南中学校の公共施設などがあり、学校環境が良く、スーパー等の生活利便施設も多い地区でもあります。

さらに、貴船神社、勝田四王寺山道等歴史的資源があるとともに、伝統行事(ほんげんぎょう、おこもり、盆綱引き)も行われており、自治区の交流が盛んで、となり近所の昔ながらのつながりがあり、高齢者が昔話や古い遊びを子どもたちに教える姿も見られます。

### 2. 地区の抱える課題と課題解決の方向性

地区では、公共交通が少なく、車がないと生活できないなど、高齢者の交通手段の確保をはじめ、世代間、地形(距離)のギャップによるコミュニティのかい離、町営住宅や古くからの住宅の老朽化も課題となっています。

また、今後、急速に進む高齢化への対応、荒廃林、荒廃田への対策、道路の安全対策・段差の解消、住宅地への街路灯の整備、空き家対策、未整備地区への上下水道の整備をはじめ地区の活性化対策などが求められています。

これらの課題解決の方向性として、田園景観の整備、自然体験の場の確保、あいさつの心がけや地区の広報活動の活性化・通信手段の整備、イベント・サークル等の参加したくなる活動の開発、地区、行政、事業者の協力体制の確保、交通利便性の向上等を通じて、将来を担う子ども達が誇りと愛着を持てる地区づくりが求められます。

### 3. 地区の将来像

原田っ子が「誇り」と「愛着」を持てる地区づくり

～豊かな人づくり、お隣さんづくり、顔と声を広げる運動の推進～

### 4. 地区における重点的な取り組み

新旧住民の交流により世代を超えて地区を守り育てることを目指します。

- ・ 伝統やよいならわし、知恵を熟知している高齢者と子どもの交流
- ・ 親子一緒に自然体験（収穫体験、川あそび、山菜とり、タケノコほり）
- ・ 簡単な託児（遊んでもらう）→サロン
- ・ 学校行事を活かしての地区の活性化
- ・ 競技場を開放して地区ぐるみの運動会等の開催
- ・ 老人会対抗のイベント（運動会・歌合戦など）を定期的に行いお年寄りに元気になってもらう
- ・ 子どもからお年寄りまで気軽に集える場所の確保
- ・ 史跡のPR、有効活用（観光資源に！）
- ・ 自治会に入る人を増やす
- ・ 公民館の有効利用を考える
- ・ 声掛け運動の実施
- ・ 井戸端会議ができる場所を増やす

## 井野地区(井野小学校区)

### 1. 地区の特性と保有する資源

井野地区は町の最西部に位置し、大野城市、志免町に接しています。

地区は、主にひばりが丘団地と田園地帯で構成されており、森林や河川等自然環境も豊かな新旧住宅が合わさった地区です。

近年は、新興のアパート等が増加しており、世帯数が多くなっています。

また、地区には、井野小学校、福岡県立宇美商業高等学校のほか公園やグラウンド、工業施設も立地しています。

地区の景観を特徴づける井野山は散歩、学習の場として活用され、住民の交流資源としても貴重な存在です。

そして、地区に残されている祭りや風習は、観音浦古墳などとともに文化的環境をつくりだしており、子ども会育成会の活動や小学校との合同運動会を通じて住民相互のコミュニケーションを図っている地区でもあります。

### 2. 地区の抱える課題と課題解決の方向性

地区では、新旧住民のコミュニケーションの必要性があり、高齢化と農業の後継者不足が課題としてあります。

一方、基盤の面では、上下水道の整備、都市計画道路、町道、県道の整備等による交通渋滞・冠水・土砂崩れの対策や、登山者が急増している井野山林道の整備が課題です。

また、今後進むと予想される少子高齢化への現在からの対応と災害時等への安全安心のまちづくり、ゴミの投棄への対応、くつろげる場の整備等が課題です。

これらの課題解決の方向性として、声かけ、見守り運動の推進が必要であり、井野山を活用した交流の活性化や環境保全のため、井野山環境を守る会等の立ち上げによるさらなる資源の活用、災害時のう回路の整備、防犯灯の設置等による明るいまちづくりが求められます。

### 3. 地区の将来像

井野山・井野川の自然と共生し、安全・安心に生活できる 街づくり！！

「スローライフ INO」

### 4. 地区における重点的な取り組み

豊かな自然環境のもと、住民相互のコミュニケーションのとれた安全・安心なまちづくりを目指します。

- ・地区住民と井野山利用者との共働（自然を守る活動など）
- ・ボランティアの募集（井野山を守る会(仮)への入会の呼びかけ）
- ・パトロールの継続（防犯意識の持続）
- ・一人住まいの高齢者との連絡（声掛け）
- ・子どもたちへの声掛け、見守り活動
- ・井野川・内野川をホタルの舞う川に
- ・お互いが笑顔でかわす「あいさつ」ができる地区づくり